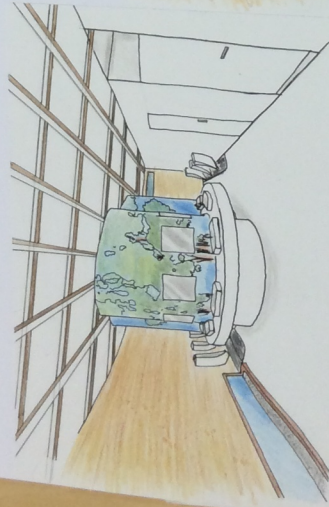


大自然と衝突するトイレ

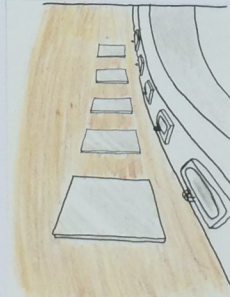
～空気とメダカが泳ぐ～

設計趣旨

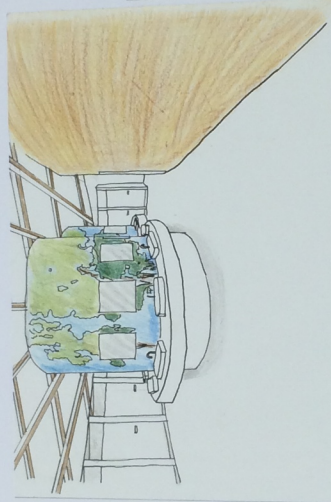
設計を考えるにあたってあかちゃんどがある岡山県英田郡西栗倉村を調べたところ、面積の95%が山林になっ
り林業が盛んで、吉野川が通る自然豊かな場所であることが分かった。都市部では味わうことのできないこの大自
然を活かして設計を考えることにした。
敷地の東西は山に囲まれており、西には吉野川が通っている。東西の山から流れてくる空気を建物で受け流すこ
とを考えた。また吉野川を意識した小川のようなものを建物の前に配置したいと考えた。
これらことから男子トイレと女子トイレを両方をあけて別々の建物にし、それぞれの形を東西に向けてゆるいS字カー
ブにすることで東西の山の空気の通り道をつくった。この建物は山の空気だけでなくトイレへ向かう人の動線となっ
ているのでここで人と山の空気がぶつかる。また、2つの建物の前にはS字カーブに沿って川を意図した水場を作ること
で西栗倉村の景観である吉野川を思わせる小川をつくった。この水場はトイレに重要な清涼感を与え、メダカなどを
飼うことで子供からお年寄りまで楽しめるトイレになる。
トイレの室内は、室内からお自然を感じてほしいとおもい男女それぞれの建物のほぼ中心にガラス張りで見えら
ぬ空間に水を描き、トイレに入る時、手を洗う時など視線が水に集まるようにした。またこの空間から光も取り入れら
れ、日光を浴びると水濡れ日を感じることができ、



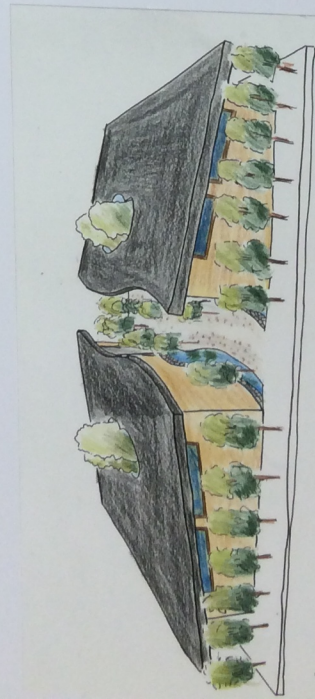
男子トイレ室内



パウダールーム



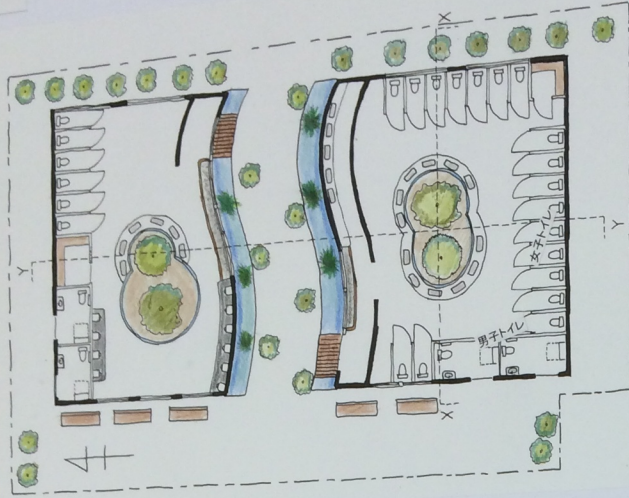
女子トイレ室内



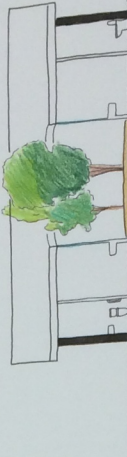
吉野川



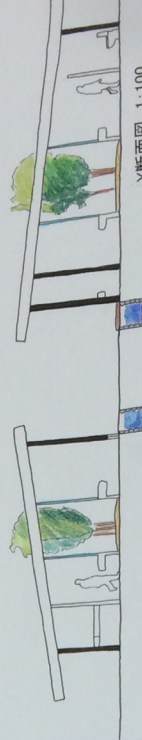
ツズラ山



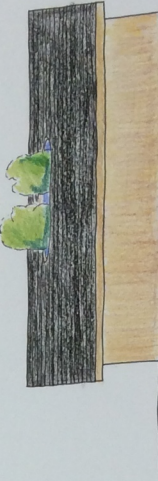
平面図 1:100



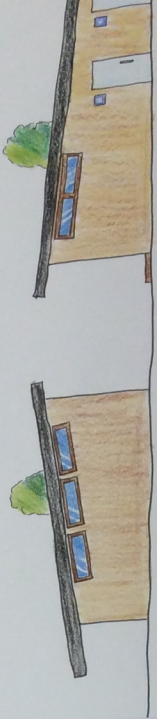
X断面図 1:100



Y断面図 1:100



南立面図 1:100



西立面図 1:100

平面図の黒線よりCUT工法とする。西栗倉村は林業が盛んであるこ
とで西栗倉村で育った杉をススキCUTパネルに加工しCUT工法の構造
材として使用する。また、木のぬくもり、見た目の美しさを感じても
らうためススキCUTパネルを用いるところは仕上げはしない。

